

2月のほけんだより

平成30年 第207号

呉市役所
子育て施設課
0823-25-3144

発達障害

なんだか育てにくいな、一生懸命育てているのにうまくいかないな、人から聞いていたこととはどうも違う・・・と悩んでいるお母さん、自分ばかりを責めないで、一度お子さんのようすをじっくり見つめてみましょう。

こんな様子はありませんか？

発達障害の症状は、早い段階から現れるものがあれば、ある程度の年齢にならないと特定できないものもあります。どんなところに、そのきざしがあるのかみていきましょう。

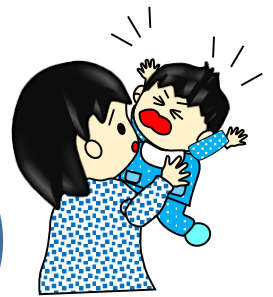


睡眠サイクルができない

一晩中抱いたり、車に乗せたり、特定の環境でないと眠らない。寝つきが悪い、眠りが浅いなど。昼間は目覚め、夜間に眠るという睡眠のサイクルがなかなかできません。

抱っこを嫌がる

感覚が過敏なため、体に触れられることを嫌がり、抱こうとすると反り返えるなどして抱きづらく感じます。



逆さバイバイ

相手の立場に置き換えて考えることが苦手です。そのため相手からバイバイされた時、相手と同じように手のひらを自分に向け逆さバイバイをすることがあります。

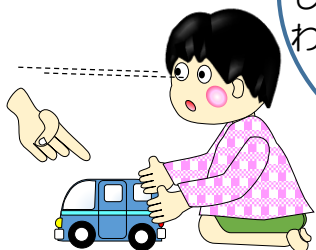
1～2歳の子どもの場合

あそび

ヒーローごっこやままごと遊びのような「ごっこ遊び」や積み木を車などに見立てるなど、目の前にないものがあるかのように遊ぶ「見立てあそび」が苦手です。

指さしをしない

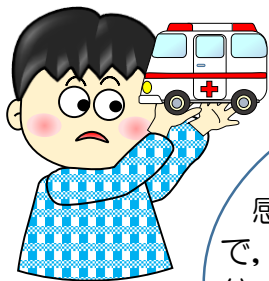
人が指さした方を見ることができず、また気持ちを伝えることが苦手なため、指さしをしません。要求する時や自分の代わりにやってもらいたい時など、大人の手を引っ張って伝えようとします。



ことばがおそい

1歳から1歳半の頃は単語が出るようになる子が多いのですが、なかなか出ない傾向があります。ことばが出てもちょうこの言うことを繰り返す（オウム返し）ことや、気持ちのこもらない話し方をして、ことばのやり取りに困難さが見られます。





あそび

あそびのルールが理解できないことや自分の感情をコントロールする力が弱いので、負けると怒ったり、やめたり、自分の都合のよいようにやってしまう。また、回るものを好み、興味を示します。おもちゃで遊んでいてもそのおもちゃ本来の遊び方をしません。



偏食が激しい

味覚・臭覚・触覚などが敏感なので、味や食感へのこだわりから「好きな食べ物ばかり食べる」「嫌いな食べ物」を極端に嫌がるなど激しい偏食が目立ちます。



不器用

箸やハサミがうまく使えないなど、手先の細かい動きが苦手です。また、片足とびでバランスを崩す、両足ジャンプで足がそろわないなど、全体的な身体の動きにぎこちなさがあります。

3～5歳の 子どもの場合

ことば

知的に高く、言語的な能力に問題がない場合でもことばの理解が難しく、冗談やたとえ話などが理解できずことばどおりに受け取ってしまいがちです。

友だちとのかわり

同年齢の子どもたちとは、会話や遊びについていけないことからトラブルになることが多く、年下の子どもとばかりと遊んでいる。また、周りで友達が楽しそうに遊んでいても興味がない様子で、関わるのが苦手です。



切り替えや変更が苦手

遊んでいる最中に、集中していることを急に終わりにされると我慢できない時や、いつもと違う行事や、何かの都合で生活の流れが変わったりすると混乱し、パニックを起こすことがあります。



発達障害は、年齢や生活、保護者の育て方や本人の努力不足が原因ではありません。

本人の特性に合った支援や環境を整えることで、子どもを伸ばすことができます。早く気づいて早めに対応することで、不必要な問題を防ぐことができます。子どもの気になる行動があれば1人で悩まずに、早めに通っている園、保健センター、かかりつけ医などに気軽に相談してみましょう。

西保健センター（和庄1丁目2-13） 0823-25-3542

東保健センター（広古新開2丁目1-3） 0823-71-9176

ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>